

ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報

第43回

全国酪農青年女性酪農発表大会 発表者決定!!

若手後継者の本音／伊藤 大地さん

監査室だより

〔第2回〕これからの監査のあり方について

JA全国監査機構 監査企画部 担当部長

白石 幸人 氏 講演録



酪農トピックス／

「福島の酪農PRキャンペーン」を東京・日本橋にて開催！（福島県酪農協より）ほか
栄えある春の叙勲褒章

酪農部だより／全酪連ギフト商品について

日本酪農見て歩紀（北海道陸別町 菅野政美牧場）



6

2014 June No.585



全国酪農業協同組合連合会

第43回

全国酪農青年女性 酪農発表大会 発表者決定!!



今村 浩星さん

高橋 実さん

経営の部

■東北酪農青年婦人会議
牛と共に歩む魅力ある
酪農経営を目指して

山形県 山形県酪農青年婦人会議

高橋 実さん

永続的なバランスの良い経営を目指し、質と量にこだわった自給飼料生産に取り組んでいる。乳質改善、牧場の衛生面、作業環境改善のために山酪

全国酪農青年女性会議（大井幸男委員長）と本会共催の「第43回全国酪農青年女性酪農発表大会」（7月17日(木)～18日(金)、宮城県仙台市「ホテルメトロポリタン仙台」で開催）の予選を兼ねた各地域会議の発表大会が3月から4月にかけて開催されました。各地域会議の酪農経営発表の部、酪農意見・体験発表の部の代表者が決定しましたので地域大会の審査講評などをもって、ご紹介に代えさせていただきます。（全国大会発表順）

■九州酪農青年女性会議
牛と相談しながら進める経営

福岡県 ふくおか県酪農青年女性会議

今村 浩星さん

HACCPゴールド認証も取得し、「学ぶことは真似ること」という経営哲学で、意欲的に取り組んでいる。若手酪農後継者で作る酪進会では盛んな活動を行い、地域児童の食育にも協力し、将来は自然豊かな地元で農家民宿の経営を目指している。

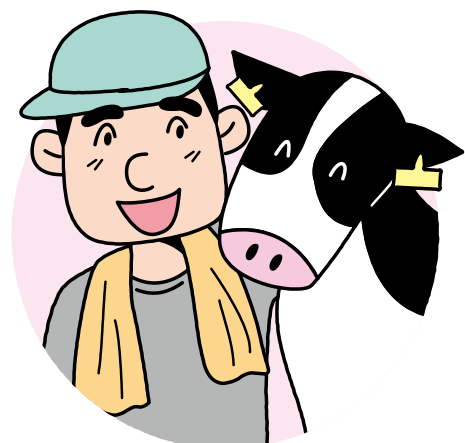
家族と4名の常勤雇用者とともに約200頭の経産牛を飼養。6ヶ月齢で北海道に預託された60頭の育成牛に本人所有の和牛の受精卵が移植され分娩前に戻るという育成牛預託システムにより、効率的な後継牛の確保、和牛子牛の販売による育成コストの削減、そして本来育成牛の管理に割かれる時間や労力を、他のステージの牛に向けることで「牛と相談しながら進める経営」を実践している。搾乳牛に対してはこれまでの管理を隅々まで見直すことにより年間乳量も1万kgを大きく上回り、年々堅実な伸びを示している。

■中部酪農青年女性会議
愛知で北海道
—キャベツ産地で
粗飼料自給率100%—

愛知県 愛知県酪農農業協同組合青年女性部

渡会 智花さん

経営の特徴は、輸入粗飼料に頼ることなく耕種（キャベツ）農家との信頼関係を構築し、専用の牧草地がなくても自給飼料（ソルゴー）栽培を可能とした耕畜連携型酪農の推進であり、平成25年に粗飼料自給率100%を





八木沢 直人さん

森下 智崇さん

岡本 孝史さん

渡会 智花さん

実現したことにある。夏のソルゴー栽培の後にはゆとりの時間もでき、夫婦で共通の趣味を楽しむ余裕も生まれており、これからも魅力ある酪農経営を目指し、夫婦2人で歩んでいただきたい。

■西日本酪農青年女性会議

淡路地域の特長を生かした酪農経営

—牛飼いとレタスの

コラボレーション—

兵庫県 淡路島酪農農業協同組合

岡本 孝史さん

淡路島で特産のレタス生産との複合経営を行っており、所得と時間双方にゆとりを追求する、居心地の良い家庭づくりを目標とした経営に取り組んでいる。所得向上のため、地域の農家と共同所有することで施設機械への投資を抑え、導入費用と年間の償却費を大幅に削減しており、ゆとり確保のため、ヘルパー制度を積極的に取り入れている。また、耕種農家と連携することで稲WCS、稲わらサイレージといった自給飼料を安定的に確保している。

■北海道酪農青年女性会議

こだわりのコンパクト経営で

「強い酪農」をつくる

訓子府町 森下 智崇さん

もともととは教師をしていたが、婿入りし営農している。酪農については素人ではあったが、経験不足を持ち前の努力と牛ノートを作ることにより情報や考えをまとめ活用している。粗飼料・牛づくり・省力化・努力の4本柱とし、効率がよく堅実な経営を行うため、「こだわりのコンパクト経営」を実現している。

■関東甲信越酪農青年女性会議

国産飼料を使った

攻めの経営を目指して!!

栃木県 栃木県酪農青年女性会議

八木沢 直人さん

国産飼料の生産・利用について、デントコーンの不耕起栽培という新技術に挑戦し、またTMRセンターを活用することで給餌作業に関わる時間と労力を削減、さらには飼料米や稲WCSを積極的に利用することで、飼料生産コストを軽減させ、かつ地域の農業全体に貢献している。

酪農経営発表の概要

発表者名 (所属会議名)	題名	耕地面積 (a)	経産牛 飼養頭数 (頭)	分娩間隔 (ヶ月)	搾乳牛1頭 当り年間乳量 (kg)	乳脂率 (%)	無脂 固形分 (%)	体細胞数 (万/ml)	乳飼比 (%)
1 高橋 実さん (東北酪農青年婦人会議:山形県)	牛と共に歩む魅力ある酪農経営を目指して	1,260	55.1	14.5	10,243	3.95	8.66	16.6	48.8
2 今村 浩星さん (九州酪農青年女性会議:福岡県)	牛と相談しながら進める経営	1,200	197.8	13.4	12,550	3.81	8.73	20.3	49.5
3 渡会 智花さん (中部酪農青年女性会議:愛知県)	愛知で北海道 —キャベツ産地で粗飼料自給率100%—	1,502	40.4	16.8	8,895	4.00	8.86	18.5	40.5
4 岡本 孝史さん (西日本酪農青年女性会議:兵庫県)	淡路地域の特長を生かした酪農経営 —牛飼いとレタスのコラボレーション—	320	23.9	14.4	9,295	3.97	8.65	9.0	37.9
5 森下 智崇さん (北海道酪農青年女性会議)	こだわりのコンパクト経営で 「強い酪農」をつくる	3,950	47.5	14.5	11,692	3.85	8.88	24.8	46.2
6 八木沢 直人さん (関東甲信越酪農青年女性会議:栃木県)	国産飼料を使った攻めの経営を 目指して!!	1,680	106.7	13.5	11,222	3.82	8.83	17.2	53.3



野口 弘子さん



大渡 康弘さん



雨田 章子さん



安達 麻美さん

意見・体験の部

■ 東北酪農青年婦人会議

夢の実現！そして創造の輪へ

宮城県 宮酪青年婦人連絡協議会

安達 麻美さん

大の動物好きが高じて都立高校で畜産を学ぶある日、テレビの取材に「将来は酪農家のお嫁さんっ！」と全国に向けて堂々宣言。夢の実現後は家事・子育てに追われながら、体型審査90点を昨年獲得。地域で酪農に携わる女性の会「大崎酪農ガールズ」の立ち上げに走り回り、勉強会はもちろん趣味講座なども開きながらお互いの悩みを打ち明けられる場になればと次の夢を語る姿が評価された。

■ 北海道酪農青年女性会議

価値を創る

美瑛町 雨田 章子さん

牛乳をよく知りたいという思いから畜産大学へ進学し、卒業後は生産者の思いを消費者に届けたいと美瑛ファームにて乳製品づくりに携わっ

ている。地元の農産物にこだわり、日本一おいしい乳製品を創るとの目標で日々努力しているのが伝わる発表であった。

■ 九州酪農青年女性会議

酪農と獣医師の両立と酪農教育

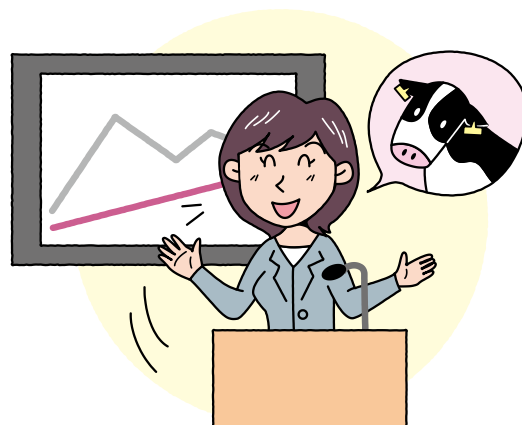
交流を目指して

―酪農の大切さを伝えたい―

鹿児島県 鹿児島県酪農青年会議

大渡 康弘さん

ご本人と奥さんが獣医師ということ、牛の疾病の早期発見、早期治療により乳代損失を抑える取り組みとしており、そのことが経営の成果として表れている。一方で食農教育にも積極的に取り組む、幼稚園生、小学生、高校生と段階的に色々な酪農体験を行っている。高校生には除角や去勢、直腸検査の実習を、また青年部所属の若手後継者に対して人工授精指導等、獣医師ならではの取組をしている。今後、より多くの子供たちに酪農体験をしてもらうために、酪農教育ファームの認証申請をしている点も評価された。



■ 関東甲信越酪農青年女性会議

夫と共に…仲間と共に…

夢に向かって…走っています♪

栃木県 栃木県酪農青年女性会議

野口 弘子さん

周囲の酪農家と協力しヘルパー制度を立ち上げ、地元のはとむぎを使ったジェラートの製造販売で地産地消にもこだわっている。酪農体験学習やジェラート体験教室などを開催することで、地域の酪農家と住民との交流などに積極的に取組んでいる。



宮下 優子さん



山延 伊久江さん

■西日本酪農青年女性会議

つながっていく、大切さ

広島県 広酪メンバーズクラブ

山延 伊久江さん

ご両親と共に3人で家族酪農を営んでおり、2003年に広島県立農業技術高等学校を卒業後に山延牧場に就農し、東広島市で第1号となる家族経営協定を結んだ。今では、伊久江さんが大学や企業の研修生、小中学校の社会見学、体験学習の受入れを行い、酪農の社会的な役割等を工夫しながら伝えていく。牛乳PR活動に積極的に参加し、牛乳乳製品の必要性を消費者に伝えている点が高く評価された。

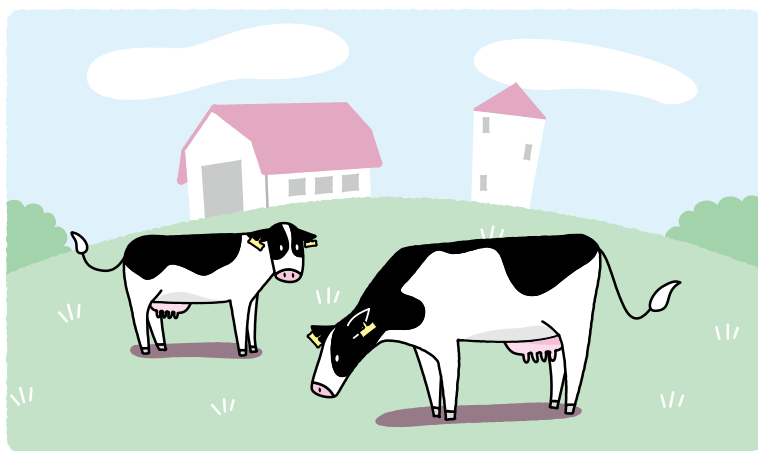
■中部酪農青年女性会議

これから酪農を継ぐ人たちへ

愛知県 愛知県酪農農業協同組合青年女性部

宮下 優子さん

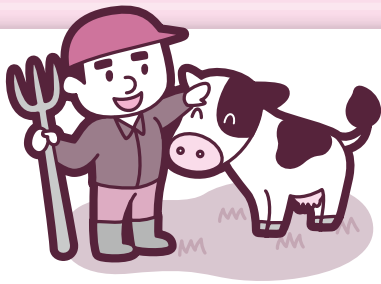
自分の体験を基に「これから酪農を継ぐ人たちへ」伝えたい5つの想い—
①農業にはまだまだ大きな可能性がある。
②遠回りでも、まずは前進。
③経営に自分のカラーを生かす。
④固



定観念を捨てる。⑤仲間づくりによって、活動の幅が広がる。—が印象的な発表であった。また、ゆとりある酪農経営の実現や、子供たちが引き継いでくれる環境づくりを考え、さらに酪農と牛乳の素晴らしさを消費者に知ってもらうためにチーズ作りへ挑戦したいと語っており、今後の夢にも期待が持てる。

意見・体験発表の概要

発表者名 (所属会議名)		題 名
1	安達 麻美さん (東北酪農青年婦人会議：宮城県)	夢の実現！そして創造の輪へ
2	雨田 章子さん (北海道酪農青年女性会議)	価値を創る
3	大渡 康弘さん (九州酪農青年女性会議：鹿児島県)	酪農と獣医師の両立と酪農教育交流を目指して —酪農の大切さを伝えたい—
4	野口 弘子さん (関東甲信越酪農青年女性会議：栃木県)	夫と共に…仲間と共に…夢に向かって…走っています♪
5	山延 伊久江さん (西日本酪農青年女性会議：広島県)	“つながっていく” 大切さ
6	宮下 優子さん (中部酪農青年女性会議：愛知県)	これから酪農を継ぐ人たちへ



若手後継者の 本音 Vol.8

ホンネ

家族とともに歩む 酪農経営を目指す

今回は、三重県鈴鹿市 伊藤牧場の後継者
伊藤 大地さんにお話を伺いました。



[経営概況]

所 属 大内山酪農農業協同組合
家族構成 経営主の誠実さん(59歳)、奥さんの
久美さん(55歳)、長男の大地さん
(30歳)
飼養頭数 経産牛32頭、搾乳牛31頭

牧場の概要

伊藤牧場は、大内山酪農農業協同組合(谷川原万欣代表理事組合長)に所属し、経産牛32頭、搾乳牛31頭を飼養しています。

主に酪農経営に携わっているのは、経営主の誠実さん(59歳)、奥さんの久美さん(55歳)、長男の大地さん(30歳)の3人です。

今回は、伊藤牧場の後継者として日々頑張っておられる大地さんにお話を伺いました。

就農のきっかけ

大地さんは、地元普通高校を卒業後、好きなデザイン関係の専門学校で学び青春時代を過ごしました。しかし、幼い子供の頃から酪農に取り組む両親の姿を見て育った大地さんは、いつかきつと両親の力になればとの思いをずっと持っていたそうです。その後、県内の三重県農業大学校で畜産・酪農を学び本格的に家業の酪農を継ぐ決意を固め、酪農技術の習得のため1年間の酪農実習等に励み、牧場の仕事を手伝いながら郵便局での勤務を2〜3年経験した後、24歳で伊藤牧場に就農することになりました。

現状と今後の目標について

現在の酪農環境は厳しい酪農情勢が続いていますが、家族3人で力を合せて酪農経営に

取り組んでいます。

父親からは、「牛をよく見ることが酪農経営にとって1番重要だ」とよく言われているとのこと。今の自分にできることは牛の繁殖管理であり、地元農業普及所の担当者の協力も得て繁殖管理盤を作成するなどして、日々牛の体調を観察するようになっているそうです。

また、近隣の耕種農家との連携を深め、堆肥の供給等により循環型酪農を推進し、少しでも酪農経営のプラスにつなげたいとも考えておられます。

大地さんは、日々忙しい中、組合青年部の

牛舎内 ▼▶

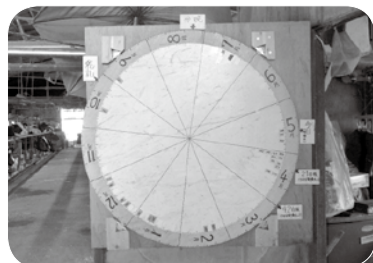




◀ 牛舎入口
(飼料タンク)



堆肥舎 ▶



◀ 手作りの繁殖管理盤



飼料給餌作業 ▶

課題と将来について

開催する研修会・勉強会にも積極的に参加し、地域の酪農家との繋がりを作っておられます。今回の取材の中で、大地さんに「酪農の魅力」は何かと伺ったところ、「家族と一緒に仕事ができることが一番」との言葉が戻ってきました。このことは家族が力を合わせ、同じ価値観を共有できる酪農の強みなのだと感じました。

酪農経営は、まだまだ父親に頼るところが多いようですが、自分が出来ることから一歩

ずつ着実に取組み、家族とともに力を合わせ酪農経営に取り組みたいと力強く話されていました。

また、今後の酪農情勢を考えると規模拡大等への多額の資金投入はできず、「家族労働型」の酪農経営の維持が基本だとも話されていました。

大地さんは普段は無口な方ですが、今後は父親との会話をもっと増やし、父親が経験してきた酪農の知識や魅力をたくさん吸収しながら、自信を持って伊藤牧場の良き後継ぎと

なれるよう日々努力しているとのこと。30歳を迎え、そろそろ良き伴侶を考えてもよい年齢です。早く家庭を持つことも親孝行の1つかもありません。

酪農を継いで良かったと両親や周囲の人に早く言えるよう、そして自分自身が思えるよう、酪農と向き合って「家族とともに歩む酪農経営」を目指そうと考えているとのことでした。

頼もしい後継者の今後に期待しながら、今回の伊藤牧場の取材を終えました。

伊藤さんより

全国の若手後継者の皆さんへ一言！

全国には私と同じように、まだまだ親に頼ることが多いと感じている若手後継者の方も多いのではないのでしょうか。そして自信を持って早く親から牧場を引き継げるよう日々取り組んでいると思います。

ここ数年酪農を取り巻く情勢は大変厳しいですが、家族と一緒に力を合わせて働ける「酪農」の魅力を強く感じながら、酪農経営維持に自分の力が発揮できればと考えています。

全国の若手後継者の皆さん、厳しい酪農情勢はまだまだ続くと思いますがお互いに頑張って行きましょう！



福島県酪農協より

「福島の酪農PRキャンペーン」を東京・日本橋にて開催！

5月22日(木)～23日(金)の2日間、「日本橋ふくしま館 MIDETTE」において福島県酪農業協同組合、福島県酪農青年研究連盟主催の酪農PRイベントを開催しました。

これは、酪農家が直接消費者と接し、福島県内の乳業メーカーと共に「福島県産牛乳の安全・安心」をPRすることを目的に開催したものです。当日は、酪農家及び事務局が、来場者に牛乳、ランチクロス、リーフレット等をオ



▶ オリジナルグッズを配布

リジナルバックに入れ配布しながら県産牛乳をPRしました。22日には農林水産省 原田英



◀ 日本橋ふくしま館MIDETTE



原田畜産部長も来訪 ▶

男畜産部長も来訪していただき、事務局としても感無量の想いでした。「がんばれ！福島！」と温かい声をかけていただく来場者もいらっしゃる中、1日500セット、計1,000セットのオリジナルグッズは盛況のうちに配布を終え、首都圏の消費者の方に福島県産牛乳を理解していただく良い機会となりました。

(W.H)

東京
支所発

「信濃川感謝祭やすらぎ提 川まつり」の開催

標記の「信濃川感謝祭やすらぎ提 川まつり」が5月3日(土)～5日(月)にかけて、「新潟総合テレビ (NST) 社屋」及び「やすらぎ提」で開催されました。3日間ともますますの天気で、3日は約8,000名、4日は12,000名、5日は6,000名のお客さんが来場されました。イベントとしては、

- ①タイアップアーティスト：RYUTistのライブで県産牛乳のPRや牛乳サンプリングを実施。5月3日に2回ずつ実施し、各回200セットを配布。
- ②タイアップアーティスト：RYUTistが5月3日に特別番組に生出演し、新タイアップソング“ミラクルミルク”を披露。また、歌唱後に県産牛乳PRを実施。※視聴率は1.9%

③NST社屋1階にて“ミルククイズコーナー”を設置し、5月3日10時～17時にかけて牛乳PRクイズを実施。のべ1,000人の参加があり、ガラポンで景品を配布。

以上のようなイベントを実施し、大いに県産牛乳をPRしました。(S.T)



◀ ①牛乳サンプリング配布



▲ ②特別番組に出演



◀ ③ミルククイズコーナー

大阪
支所発

全国発表大会代表は 岡本孝史さんと山延伊久江さんに決定！ — 第45回西日本酪農発表大会 —

西日本酪青女主催の第45回酪農発表大会が4月24日(木)、淡路島洲本市のホテルニューアワジにて会員・関係者121名が参集し開催されました。

今年の発表大会は、酪農経営発表の部3名、意見・体験発表の部2名がそれぞれエントリーし、酪農経営発表の部では、淡路島酪農協の岡本孝史さんが「淡路地域の特長を生かした酪農経営」、おかやま酪農協青年部の出射清和さんが「牛と心を通わせて」、並びに大山乳業農協青年部の小谷利夫さんが「家族でみがく経営力」と題した発表を行いました。

3者とも、各地域の特色を生かした酪農や工夫を凝らした経営を行っており、甲乙付けがたい難しい審査となりました。審査委員長を務めた農林水産省近畿農政局生産部畜産課の中藤秀樹課長補佐は審査講評の中で、「レタス生産との複合経営を行っていて生産原価や所得率をはじめとする経営指標や、衛生的な乳質について優れた成績をおさめられていることなどから判断した」と述べられ、岡本孝史さんを最優秀者（近畿農政局長賞受賞）として地区代表に選出しました。

また、意見・体験発表の部には、広酪メンバーズクラブの山延伊久江さんが「“つながっていく” 大切さ」、おかやま酪農協女性部の小



◀ 質疑応答に緊張する発表者



▲ 岡本孝史さん



▲ 山延伊久江さん

倉越子さんが「人生色々 楽農をめざして」と題し発表を行いました。山延さんは、ご両親が培った酪農経営を継承され、更に社会貢献や消費拡大運動等に積極的に参加され、ご自身が中心となり女子力アップを目指し仲間づくりに励んでおられ、それぞれの要素が酪農経営につながっていると、次につなげていくことも見据えていました。小倉さんは、大学卒業後に酪農家に嫁ぎ30年余に渡りご主人と二人三脚で経営を行ってきました。様々な苦労を経験されな

がらも、培った技術をもとに1万kg牛群を目指し、地域の女性部活動をとおして助け合いながら人生の色を染めてこられました。これからも自分独自の色を創造することを決意しながら、食の安全安心を守っていくと決意を表明されました。二若審査委員長を始めとする審査員は、苦渋の決断ながらも山延さんを最優秀者（近畿農政局長賞受賞）として選出しました。

(S.T)



▲ 第45回発表大会記念写真

福岡
支所発

今村浩星さん、大渡康弘さんが全国大会へ！ — 第43回 九州酪農発表大会 —

4月17日(木)～18日(金)の2日間、佐賀県武雄市「武雄センチュリーホテル」において「第43回九州酪農青年女性酪農発表大会」が開催され、九州・沖縄各県より約170名の酪友が参加しました。

発表大会の開会式では、九州酪農青年女性会議・内ヶ島賢勇委員長の挨拶の後、来賓の農林水産省九州農政局生産部 坂本雅司次長、佐賀県生産振興部畜産課 南川藤夫課長、佐賀県農業協同組合 織田博吉代表理事組合長、九州生乳販売農業協同組合連合会 尾形文清代表理事会長よりご祝辞をいただきました。

経営発表の部では、今村浩星さん（福岡県）が優秀な経営内容を発表されました。

意見・体験の部では、谷山雄一さん（宮崎）、塚島信子さん（佐賀）、田畑修一さん（大分）、大渡康弘さん（鹿児島）、馬場零夢さん（長崎）、宮本るみさん（熊本）、片峰多恵子さん（福岡）、比嘉直人さん（沖縄）の8名が発表を行い、会場に集まった酪友も熱心に耳を傾けていました。

発表終了後の交流会は佐賀県農業協同組合 金原壽秀常務理事のご発声により幕を開け、佐賀県酪農婦人部の皆さんによる余興、さらに地元の伝統芸能「不知火太鼓」の迫力ある演奏で会場は大いに盛り上がりました。

2日目は発表者への質疑応答、審査講評と褒賞授与が行われました。経営発表の部の最優秀



▲ 発表者の皆さん

賞（九州農政局長賞）には「牛と相談しながら進める経営」と題して発表された福岡県の今村浩星さんが選出されました。審査委員長の九州沖縄農業研究センター 梶雄次研究支援センター長は「6ヶ月齢で北海道に預託された60頭の育成牛に本人所有の和牛の受精卵が移植され分娩前に戻るという育成牛預託システムにより、効率的な後継牛の確保、和牛子牛の販売による育成コストの削減、そして本来育成牛の管理に割かれる時間や労力を、他のステージの牛に向けることで『牛と相談しながら進める経営』を実践している」と、今村さんの発表内容を講評されました。

意見・体験発表の最優秀賞には「酪農と獣医師の両立と酪農教育交流を目指して～酪農の大切さを伝えたい～」と題して発表された鹿児島県の大渡康弘さんが選出されました。審査委員長の加藤エミ子九州酪農青年女性会議顧問は、「ご本人と奥さんが共に獣医師で、牛の疾病の早期発見、早期治療により乳代損失を抑える取り組みをされる一方で食農教育にも積極的に取り組まれており、幼稚園生、小学生、高校生と段階的に色々な酪農体験を行っている。特に高校生には除角や去勢、直腸検査の実習を、また青年部所属の若手後継者に対して人口授精師取得指導等、獣医さんならではの特徴ある取組をしている点が素晴らしい」と講評されました。

お2人は、7月に開催される第43回全国酪農発表大会に九州代表として出場されます。

(Y.K)



◀ 会場の様子



▶ 佐賀県酪農婦人部の皆さんの余興

大阪
支所発

西日本酪農青年女性会議 新役員決まる

西日本酪農青年女性会議の平成26年度通常総会が酪農発表大会の翌日、4月25日(金)にホテルニューアワジで開催されました。総会では、平成25年度事業報告及び決算承認の件等が審議され、上程された全議案が承認されました。

今年度の事業計画は、酪農発表大会及び酪友フォーラムの開催に加え、牛乳理解醸成活動を今年度も行うことが盛り込まれました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、代表監事を1期、委員長を2期務めた二若信彦氏(おかやま酪農協青年部)が退任され、新委員長には林浩太郎氏(山口県酪農青年女性会議)が就任されました。林氏は、副委員長を2期務めてから委員長に就任されました。

主な新役員は、次のとおりです。副委員長に

▶(左から)井上、平野、林、村上、安達、三村各氏



平野博子氏(おかやま酪農協女性部)、村上庸啓氏(兵庫六甲農協)及び井上正芳氏(広酪メンバーズクラブ)の3氏が、代表監事には、三村洋平氏(おかやま酪農協青年部)、監事に安達和江氏(大山乳業農協酪農女性部)及び船越孝江氏(淡路島酪農協女性部)がそれぞれ就任されました。今後、林委員長を中心に酪青女活動を積極的に推進することになります。(S.T)

「TPP交渉における国会決議の実現と情報開示を求める緊急国民集会」開催!

5月14日(水)、日比谷野外音楽堂にて「TPP交渉における国会決議の実現と情報開示を求める緊急国民集会」が開催されました。19～20日にシンガポールで開催が予定されるTPP閣僚会合は、日米首脳会談で共同声明が発表されてから初めての会合でもあり、国会決議の厳守を与党・政府に強く訴えるため、本集会が開催されました。

集会では、石破茂自民党幹事長、井上義久公明党幹事長ら与党議員らが参加する中、主催者代表として萬歳実行委員会会長から、「決議は国民との約束であり、



▲ ガンパロー三唱



◀ 集会には多くの参加者が集う

政府はこれら決議を実現すべく、強い交渉力をもって交渉してもらいたい」との強い要求がありました。



◀ デモ行進

これに対し、石破茂自民党幹事長からは、「国会決議についてはしっかりと守り、日本の農業を再生のため、皆さんとともに全力を尽くしていきたい」と発言されました。最後にTPP交渉における特別決議が満場一致の拍手で採択され、酪農家でもある山下秀俊JA全青協会長によるガンパロー三唱で閉会しました。

その後は、日比谷野外音楽堂を皮切りに農水・外務・経産省前を通り、国会・自民党本部へとデモ行進を行い、決議の厳守を強く求めました。

栄えある春の叙勲 褒章

政府は4月下旬、春の叙勲・褒章受章者を発表しました。
全酪関係者からは、次の方が受賞の名誉に輝きました。心からお祝い申し上げますとともに、
益々のご健闘をお祈りいたします。



●旭日小綬章●

羽田 正治 氏

現 宮崎県経済農業協同組合連合会 代表理事会長
現 西都農業協同組合 理事
前 宮崎県農業協同組合中央会 会長
元 全国農業協同組合連合会 経営管理委員会 副会長
元 宮崎県経済農業協同組合連合会 代表理事副会長



●旭日双光章●

尾形 文清 氏

現 ふくおか県酪農業協同組合 代表理事組合長
現 九州生乳販売農業協同組合連合会 代表理事会長
現 一般社団法人 中央酪農会議 副会長
現 全国畜産農業協同組合連合会 副会長
現 全国酪農業協同組合連合会 監事



●旭日双光章●

新野 康雄 氏

前 山形県酪農業協同組合 代表理事組合長
元 山形県酪農業協同組合連合会 会長
元 全国酪農業協同組合連合会 副会長
元 山形県ホルスタイン協会 理事
前 山形県家畜改良協会 会長



春の褒章 受賞記念祝賀会

5月13日(火)、東京都日比谷の松本楼にて、
記念祝賀会が開催されました。



菅野さんご夫婦 ▲

No.253
菅野政美牧場
北海道陸別町

健康な飼養管理がよい牛を創る

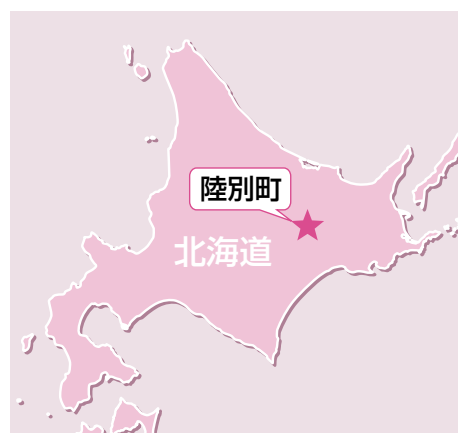
地域について

今回紹介する菅野牧場は、帯広市の北東へ車で2時間ほどに位置する足寄郡陸別町にあります。周囲を山野に囲まれた盆地のため、真夏に35℃を超える日もあれば、真冬にはマイナス30℃を下回る日もあるという、非常に寒暖の差が大きい地域です。特にアメダス計測による1月の平均気温はマイナス11・4℃となり、ここより寒い計測所は富士山山頂しかなく、「日本一寒い町」として有名です。この寒さを利用し、毎年2月には「しばれフェスティバル」と題して、酷寒を楽しむお祭りも開かれています。また、豊富な自然を利用したオフロードコースが設置されており、2004年には世界ラリー選手権が開催されました。

牧場の概要

菅野牧場は現経営主の政美さん

(54)、奥様の悦子さん(50)、お父さんの勇治さん(84)、お母さんの邦子さん(80)、次女の紗永さん(17)の5人家族。また、長女の奈美さん(23)は札幌で就職し、長男の晃寛さん(21)が酪農学園大学に在学しています。労働力は政美さんと悦子さんの2人で、搾乳作業を悦子さんが、政美さんがそのほか業務全般を受け持ちます。飼養頭数は138頭で、うち搾乳牛は69頭。平成25年の出荷乳量は714tとなっています。耕作地はデントコーン12ha、牧草地44haです。最近では圃場のカリウム過剰が心配なので、輪作体系にビートを組み込むことを検討中です。また、この他に小麦畑として21.5haを所有して



おり、こちらにも収穫以外の作業を政美さん1人で受け持っています。

菅野牧場は昭和39年に同じ陸別町内にある本家から分家した、お父さんの勇治さんが現在の場所です。牛3頭の飼養を始めたのが始まりです。当時は、林業や豆などの畑作が中心でしたが、昭和47年には50頭のつなぎ牛舎を建設し、規模を拡大していきます。政美さんは、実家を継ぐべく進学した酪農大学生短期学部を昭和55年に卒業。その後牧場作業に従事しながら経営を学び、平成2年には牧場の経営を引き継ぎます。農林公庫のL資金などを積極的に利用し、平成7年に現在のフリーストール牛舎を建設しました。平成10年には1万kg牛群を達成。また、平成17年から

23年にかけては十勝NOSAの理事を務めた経験もあります。

飼養管理について

飼養は150頭規模のフリーストールで行っています。敷料には購入に加え、小麦畑で生産している麦わらを使っています。敷料を十分使うことで、堆肥の発酵もよく進み、牛も清潔に保たれていました。また、冬季の酷寒の中でも、牛は暖かく過ごせるとのことです。パララーは4頭ダブルのオートタンDEMです。ミルクメーターが設置しており、個体ごとにつけられた首輪から識別し、個体ごとの搾乳量や搾



4頭ダブルのパラー

乳時間を記録してパソコンで管理できます。また、給餌機も備えられており、搾乳中は下限を1kgとして、餌を与え続けます。フリーストールで食い込みの足りなかった牛もここで十分に給餌されます。飼料は100g刻みで給餌されるので、残滓も少なくてすみます。搾乳作業は1人でできるようにしており、90頭を60〜90分程度で搾り終えられるとのことです。

餌の面ではコーンサイレージ・ローサルサイレージ・ビートパルプをミキサーで給与しています。また、5月下旬から11月上旬にかけては放牧を行っています。夏季の陸別町は気



給餌機とメーター。時間当たりの乳量などが表示される

温が35℃を超えることも珍しくなく、サイレージが二次発酵を起こすこともあるため、乾草を主体としています。夏季と冬季で餌の主体が変わることもあり、給餌管理をより厳密にするため、フィードステーションを採用しています。飼料は全酪連配合飼料を軸に単味などで成分調整し、カロリー重視とタンパク重視の餌を2種類設計し与えています。これにより前述のパラーで得られたデータや、牛ごとのボディコンディション、産後日数、サイレージの残滓量から、1頭ごとに給餌内容を調整でき、細やかな給餌管理が可能となっています。乳検データでMU



ミキサー

▶ 放牧風景



N値などに変動が見られれば、すぐに給餌量を変更できるのも大きな利点です。この管理方法により、平成25年度の体細胞数平均は10万を下回り、第4胃変異の発生は1例たりともありませんでした。

圃場管理について

前述の通り栄養についてはフィードステーションで調整できるため、自給飼料は成分値よりも発酵品質



牛舎遠景

を重視し、より食い込みの良い餌を与えられるよう考えられています。「牛を健康的に飼うには、まず良い畑を作ること」という考えのもと、圃場整備には力を入れており、作業性向上のため、暗渠^{あんきょ}の整備、畑の石の除去を行っています。特に石の除去には苦労したといい、「ひどいところでは、200間を起こしたらルートバケット3杯分の石が出た」とのことです。「経営上の信念はありますか?」と尋ねたところ、「畑作りが一番大事」と政美さん。「酪農を長く続けるには、土から作物、作物から牛、牛（から出る堆肥）から土へ、循環がうまくいかなければならない」とも

政美さんは語ってくださいました。

圃場管理は政美さん1人で行っているの、作業には大型機械を欠かすことができません。不測の事態に備え、近隣酪農家の廃棄機械や、公金補助などを積極的に利用し、トラクター等は複数もって冗長性を確保しています。一見無駄と思えるかもしれませんが、予期せぬ故障で修理となっても作業が継続でき、マンパワーのない状況では非常に有効です。この努力が評価され、平成10年には北海道草地協会主催の草づくりコンクールにて優秀賞を受賞しています。

この他、牧場には自家発電設備や浄水設備がしらえられています。昨年10月に陸別町全域が26時間にも及ぶ停電に見舞われた時にも、15分程度で復旧し搾乳も継続できたとのこと。

牧場の今後について

現在、長男の晃寛さん（21）が酪農学園大学で酪農を学んでいます。共進会でジュニアリードマンを務めるほど牛好きですが、「牧場を継ぐかどうかは息子次第」とのこ



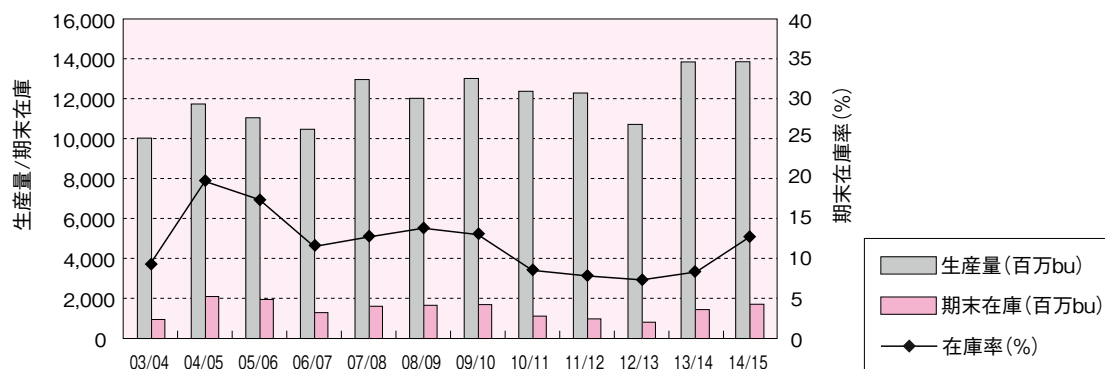
牛舎内

と。「後継者が誰になるかはまだわからないが、次の世代が使いやすい状態で、牛、牛舎、畑を残したい。自分のやり方でしか運営できない状態ではなく、後継者の特色を出しやすい状態で牧場を残したい」と政美さんは語ってくださいました。

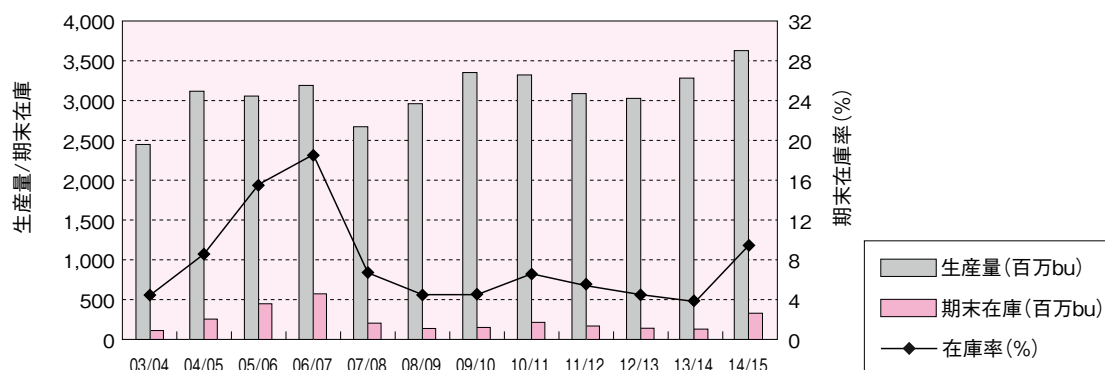
雪解けを迎えて何かと忙しくなる時期での取材でしたが、快く取材を引き受けてくださいました政美さんに心より御礼申し上げます。正確で細やかな飼養技術には驚かされるばかりで、まさに天職という印象を受けました。末尾となりましたが、今後の菅野牧場の発展と、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

5月9日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	【13/14年産】 作付面積95.4百万(前月95.4百万) エーカー、単収158.8 (158.8) bu/エーカー、生産量139億2,500万 (139億2,500万) bu、総需要量136億3,500万 (134億5,000万) bu、期末在庫11億4,600万 (13億3,100万) bu、在庫率8.4(9.9)%。
	【14/15年産】 作付面積91.7百万エーカー、単収165.3bu/エーカー、生産量139億3,500万 bu、総需要量133億8,500万 bu、期末在庫17億2,600万 bu、在庫率12.9%。
トウモロコシ 相場動向	シカゴ相場は500¢前後の値動きだったが、5月に入ると輸出が堅調なことや産地の天候が悪化したことから510¢台まで値を切り上げた。新穀の期末在庫発表は、生産量が予想以上に多く、この数字が実現されるには作付を含めて作付・収穫まで好天に恵まれる必要がある。今後も、米国産地の天候により相場は大きく変動する見込み。また、ウクライナの輸出動向についても注意する必要がある。
国内産大豆粕	米国産大豆需給予想の13/14年見通しは、需要面が搾油・輸出で増加し、期末在庫見通しは1億3,000万 (1億3,500万) bu、在庫率3.8 (4.0) %となった。14/15年見通しは、生産量は増加しているものの国内消費を中心に需要も増加しており、期末在庫は同程度の見込み。シカゴ大豆相場は、旧穀は需給がタイトで価格は高止まりしており、新穀は作付面積・単収が良好のため、生産量の増加、相場の軟化が期待されている。国内需給は、発生量は例年並みで需要は若干減少している。輸入大豆粕は、需給が締まっており、価格は強含みの展開。世界的な蛋白原料への需要増加の影響を受け旧穀の需給はタイトであり、来期は値上げを見込む展開。
槽糖類	国産フスマは、季節性による需要の増加から生産量も増加傾向。新穀に切り替わった原料用小麦が良品のため、小麦粉の歩留まりが高くフスマの発生割合は減少し、若干のタイト感が出ている状況。グルテンフィードの国内発生量は増加傾向で需給の緩和が見込まれる。輸入品は、輸入元である中国で、下落していた豚の相場が回復傾向にあり需要は回復。生産メーカーの操業不振から生産量は減少しており、需給はひっ迫しつつある。価格は横ばいから若干緩んで推移する見込み。
海上運賃	南米の需要が予想以上に少なかったことから船が余り、相場は軟調に推移。今後は船の過剰も緩和され、再び緩やかに上昇基調になる見込み。

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移



輸入粗飼料の情勢

平成26年5月

北米コンテナ船 フレート	4-6月のBAF（燃料調整係数）は\$5の値上げ実施。GRI（基礎レート）値上げ予定は、大半の会社が6月以降にさらに延期している。北米西海岸での労使交渉が長期化するとの見方が強く、最悪の場合ストによる各港の閉鎖（前々回の02年では交渉が決裂し、9月下旬から10日間の各港閉鎖によりデリバリーが正常回復するのに半年を要する事態となった）も懸念されるため注意が必要。
ビートパルプ	【米国産】13年産の作付面積・生産量は前年比5%減の見込み。産地では14年産作付が開始。冷涼な気候のため進捗がやや遅れているとも伝えられているが、種子の品種改良により単収増が期待され、生産量も増えることが予想されている。しかし、カリフォルニアの干ばつの影響から米国内酪農家からのビートパルプの引合いが非常に強く、かねてから欧州からの引合いも強いことから、産地価格は堅調に推移している。 【中国産】13年産の作付面積は前年よりも減少している。国内向けの需要がさらに増え、韓国と日本向けの輸出数量は限定的になり、タイトな状況が続く。
アルファルファ	西海岸全体でアルファルファの生産量が減少しており、米国乳価が史上最高値で推移していること、干ばつの影響により米国内の酪農家や肥育農家が積極的に購入し“パニック買い”を起していること、UAEや中国向けの買付けが旺盛なことから、14年産は高値スタート間違いなしと言われている。今後は米国内酪農家が“いくらまでなら買えるか”が産地価格の鍵を握ることになると言われている。 【ワシントン産・オレゴン産】主産地の14年産作付面積は前年とほぼ変わらないことが予想される。カリフォルニア州内の酪農家からの引合いは日々強くなってきており、産地価格はさらに高騰することが懸念される。 【北カリフォルニア産・ネバダ産】干ばつの影響を最も受けている地域で、14年産では農業用水の不足により2番刈で終了する圃場も出てくるのでは、と言われている。全米一の生乳生産地帯である北カリフォルニアでは産地価格が前年と比べ\$70/st(ショートトン≒907kg)以上も高騰している。 【インベリアルバレー産】14年産作付面積は前年比104%。産地では2番刈の収穫が間もなく終了。カリフォルニア州内から強い需要があり、産地価格が高騰し、輸出向けは手が出せない状況。UAEや中国向けの本格的な買付時期が注目される。
チモシー	【米国産】14年産作付面積は前年比5～10%増の予想。コロンビアベースンでは5月下旬、エレンズバーグでは6月上旬から1番刈の収穫が始まる予定。近年では日本以外の他国向けにも需要が広がっており、作柄が良くても期待以上に価格は下がらないのでは、と予想されている。 【カナダ産】主産地では14年産作付面積が増えることが予想される。昨秋よりカナダドルが米国ドルより弱く推移しており、米国産に比べて価格軟化が期待される一方で、需要の広がりから期待以上には下がらないとも予想されている。
スーダン	【インベリアルバレー産】小麦の作付面積が減少していることから、早播きスーダンの作付面積は前年対比116%と増加した。早い圃場では5月下旬から1番刈の収穫が始まる予定。小麦収穫後の遅播きの作付面積は減少することが確実な見込みだが、早播きスーダンは2番刈も収穫すると予想されており、全体の生産量は、昨年よりも増加するとされている。 【北カリフォルニア産】干ばつの影響を受け、農業用水がどこまで使用できるか不透明な圃場では作付が出来ず、14年産は大きく減少する見込みだが、主産地のインベリアルバレーでは増加予想であるため、需給に大きな影響はないと考えられている。
クレイン グラス	インベリアルバレーの4/15時点での作付面積は前年対比103%。早い圃場では4月下旬から1番刈の収穫が開始している。6月頃の産地価格次第では、休耕地プログラムに入れるか、アルファルファなどへの転作のため、2番刈で生産中止する農家も出てくる可能性があると考えられているが、輸出向け需要を賄えるだけの生産量は確保されている模様。
バミューダ	インベリアルバレーの4/15時点での作付面積は、前年対比94%。干ばつの影響により米国内の肥育農家・酪農家からの引合いは強くなっている。種子の生産意欲が旺盛なことから、14年産の作付面積は増えても、バミューダヘイの生産量は減少する見込み。
ストロー類	14年産の米国産ストロー類の作付面積は昨年よりも増加する見込み。近年続いた種子価格の低迷による作付面積の減少は、ようやく歯止めがかかってきたとも言われている。一方で、13年産は韓国向け需要が減退したこともあり、14年産の価格次第では種子収穫後にストローを集荷しない農家が増えることも予想される。
オーツヘイ	13年産は、雨当たり被害はあるものの大半が軽い雨で済んでいるため、ハイグレード品は限定的で、見た目がきれいなローグレード品が多く発生している。どの産地でも生育中にも降雨が十分にあったため、単収は例年より多いものの、雨に当たっていないスタックでも分析値はあまり良くない傾向。ハイグレード品の価格は強含みで推移しているものの、中間・ローグレードの価格は弱含みで推移しており、日本・韓国向け共に荷動きが順調。産地では14年産の播種が開始されている。どの産地でも降雨があったため、土壌水分は大きな問題がないと言われている。

生乳受託販売乳量

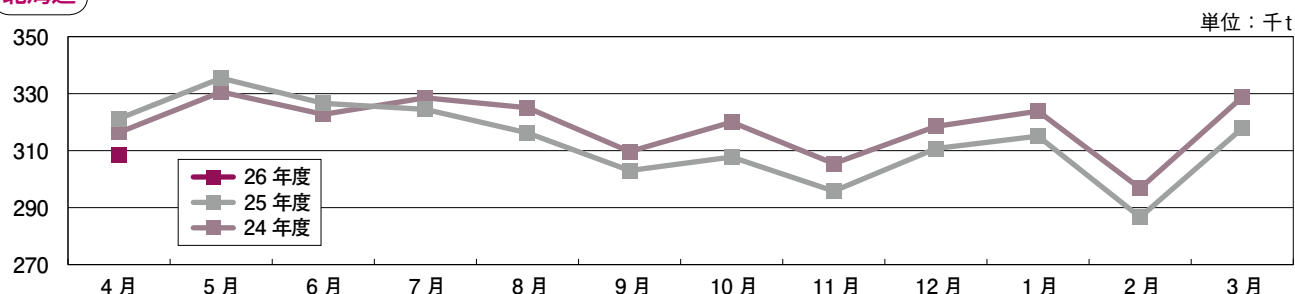
受託販売乳量

全国 604,236t で、前年同月比 **23,819t(3.8%) 減少**

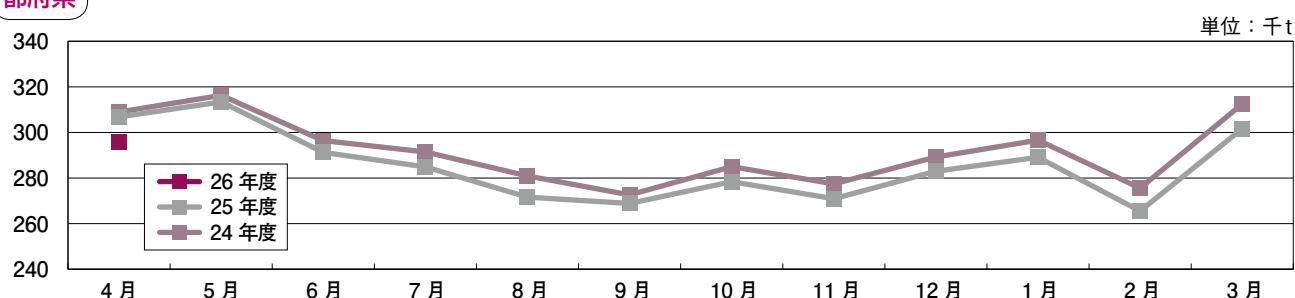
都府県 295,640t で、前年同月比 **11,174t(3.6%) 減少**

北海道 308,596t で、前年同月比 **12,645t(3.9%) 減少**

北海道



都府県



用途別販売数量

飲用向 263,793t で、前年同月比 **3,204t(1.2%) 減少**

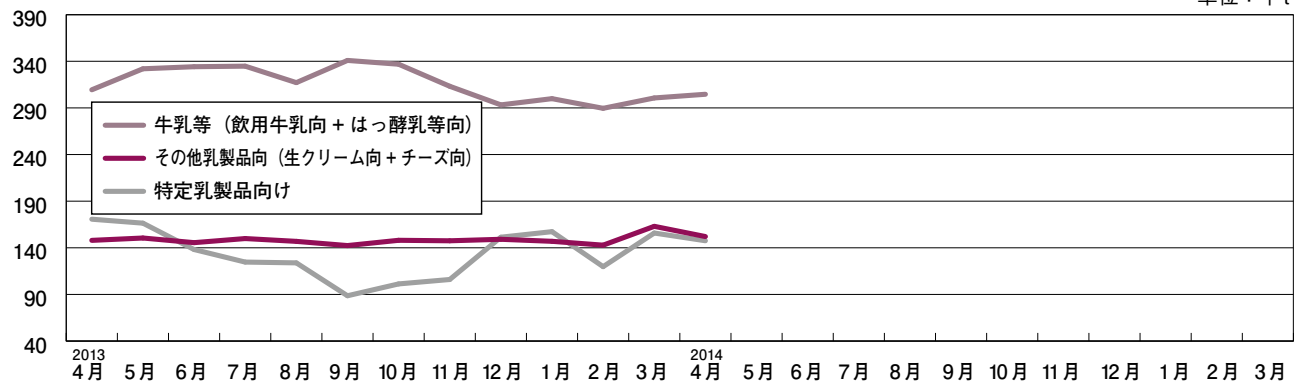
チーズ向 41,128t で、前年同月比 **740t(1.8%) 減少**

はっ酵乳向 40,832t で、前年同月比 **1,591t(3.8%) 減少**

特定乳製品向 147,553t で、前年同月比 **23,109t(13.5%) 減少**

クリーム向 110,929t で、前年同月比 **4,826t(4.5%) 増加**

単位：千 t



各地の需給動向

*前年比については、閏年修正を行っておりませんのでご注意ください。

【東北】4月生産は前年比 95.1%。日量は3月 1,581t に対し 1,592t 程度。需要は域内販売不調もあったが、生産減少の要因が大きく、GW 前半も加工向けの生乳は例年よりも少なくなった。(飲用牛乳向 前年比 100.0%、特定乳製品向 前年比 80.4%)

【関東】4月生産は前年比 96.2%。中旬にかけて微増、下旬は横ばい。乳業者の処理は、上旬は3月末の駆け込み需要の反動もあり不調。中旬から下旬にかけて少しづつ回復。その結果、飲用牛乳向け 97.4%、特定乳製品向け 93.7% となった。

【東海】生産は前年比 97% と、東海酪連の計画に近い水準で推移した。上旬は緩やかな回復が見られたものの、中旬で日量が減少、下旬も回復が見られなかった。(飲用牛乳向け 99.1%、特定乳製品向け 84.4%)

【近畿、中国、四国】近畿は先月までのトレンド並の生産(前年比 95.2%)、中国は鳥取の離農・岡山生産減少により前年比 96.5%、四国は徳島の生産減が響き前年比 95.2%。処理は上旬、3月末の処理増の影響で瞬間的に不足したもののすぐに緩和。その後暖かくなるにつれ徐々に処理が増加した(飲用牛乳向け：近畿 95.6%、中国 95.5%、四国 100.3%)。

【九州】生産は堅調を維持しており、前年比は 98.4%。処理は増税の影響からか上旬は不調、中旬から少しづつ戻ってきた。GW も必要最低限の加工処理となった。飲用牛乳向けは前年比 99.6%、特定乳製品向けは前年比 88% となった。

用途別生乳処理量

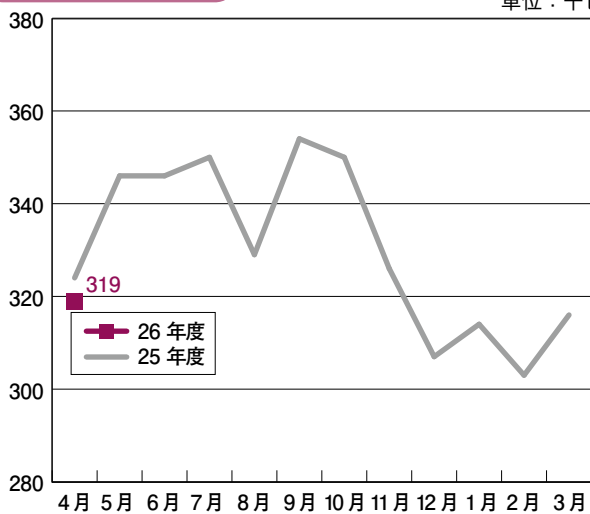
単位：千t

年月	生乳生産量	用途別処理量計							年月	生乳生産量	用途別処理量計						
		牛乳等向 ①	乳製品向				牛乳等向 ①	乳製品向									
			特 定 乳製品向 ②	その他乳製品向				特 定 乳製品向 ②			その他乳製品向						
				クリーム向 ③	チーズ向 ④	クリーム向 ③					チーズ向 ④						
2013. 4月	650	645	324	321	171	150	106	44	2014. 4月	627	622	319	303	148	155	112	43
5月	671	666	346	320	167	153	107	46	5月								
6月	638	633	346	287	141	147	105	42	6月								
7月	632	627	350	278	126	151	109	42	7月								
8月	608	603	329	274	127	147	107	40	8月								
9月	593	588	354	235	91	144	107	37	9月								
10月	608	604	350	253	104	150	109	40	10月								
11月	588	583	326	257	108	149	111	38	11月								
12月	616	612	307	305	153	151	114	37	12月								
2014. 1月	626	622	314	308	158	150	103	47	2015. 1月								
2月	573	568	303	265	121	144	102	43	2月								
3月	643	638	316	322	159	163	117	47	3月								
年度計	7,447	7,390	3,964	3,426	1,626	1,800	1,298	502	年度計	627	622	319	303	148	155	112	43

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

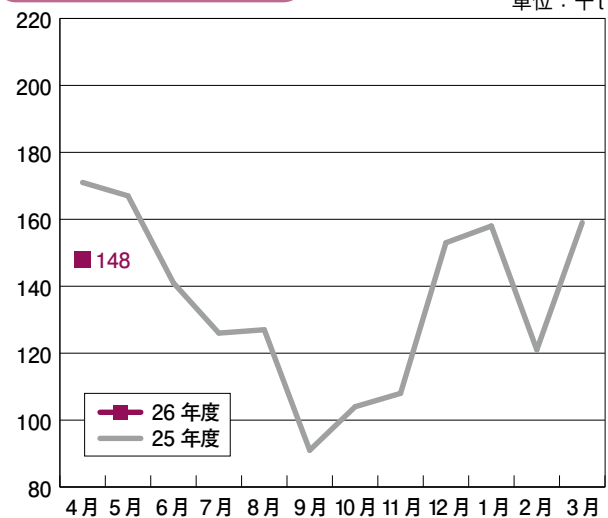
① 牛乳等向処理量

単位：千t



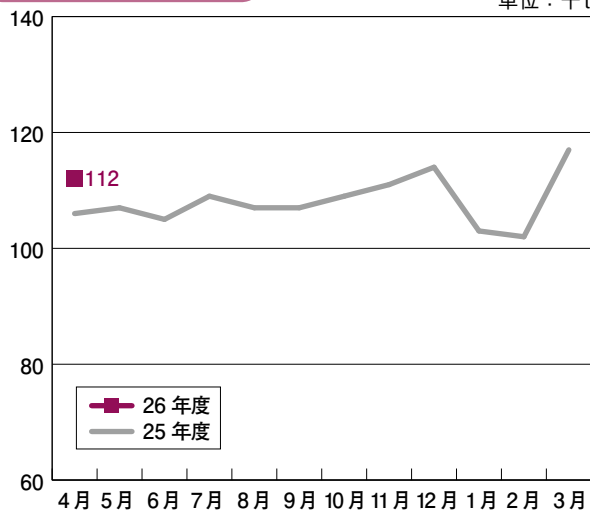
② 特定乳製品向処理量

単位：千t



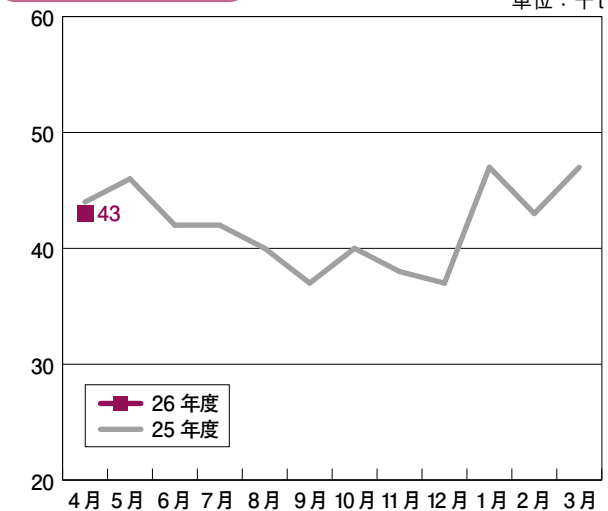
③ クリーム向処理量

単位：千t



④ チーズ向処理量

単位：千t



特定乳製品（脱脂粉乳・バター）の国内生産及び出回り量の推移

※生乳需給動向の指標となる特定乳製品の生産及び消費の動向です。

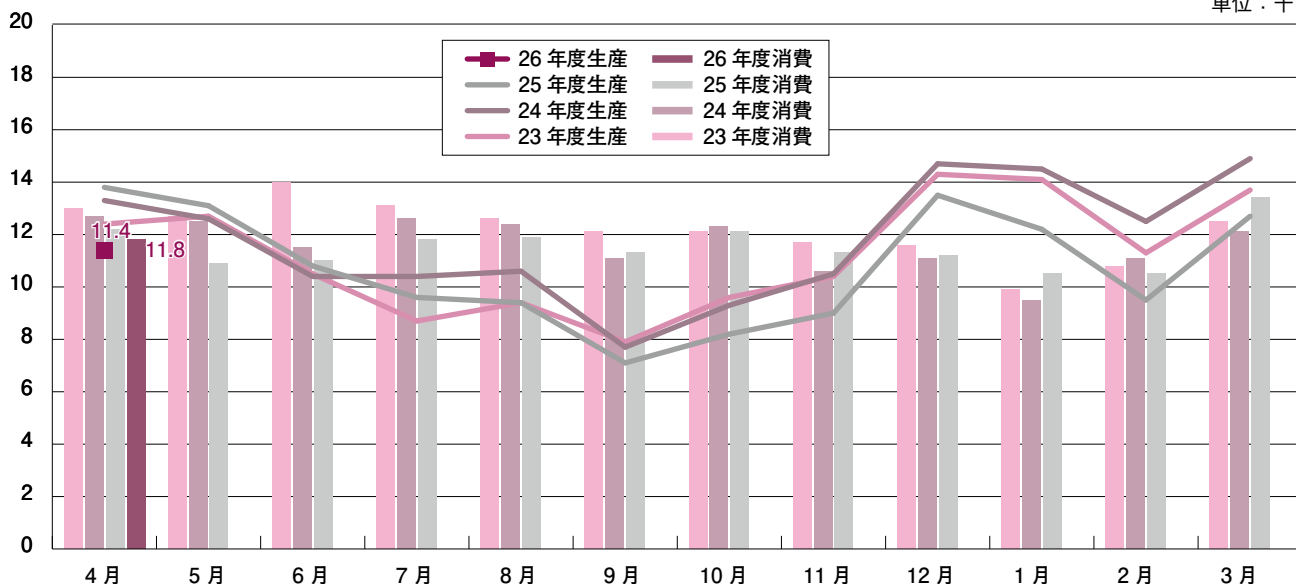
単位：千t

年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量	年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量
2013. 4月	13.8	12.2	7.0	6.1	2014. 4月	11.4	11.8	6.3	6.4
5月	13.1	10.9	7.0	5.5	5月				
6月	10.8	11.0	5.7	5.8	6月				
7月	9.6	11.8	5.1	5.8	7月				
8月	9.4	11.9	5.1	5.7	8月				
9月	7.1	11.3	3.6	5.0	9月				
10月	8.2	12.1	3.9	5.5	10月				
11月	9.0	11.3	4.2	6.2	11月				
12月	13.5	11.2	5.5	7.3	12月				
2014. 1月	12.2	10.5	6.5	4.9	2015. 1月				
2月	9.5	10.5	4.8	5.7	2月				
3月	12.7	13.4	6.0	6.9	3月				
年度計	128.8	138.0	64.3	70.5	年度計	11.4	11.8	6.3	6.4

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ

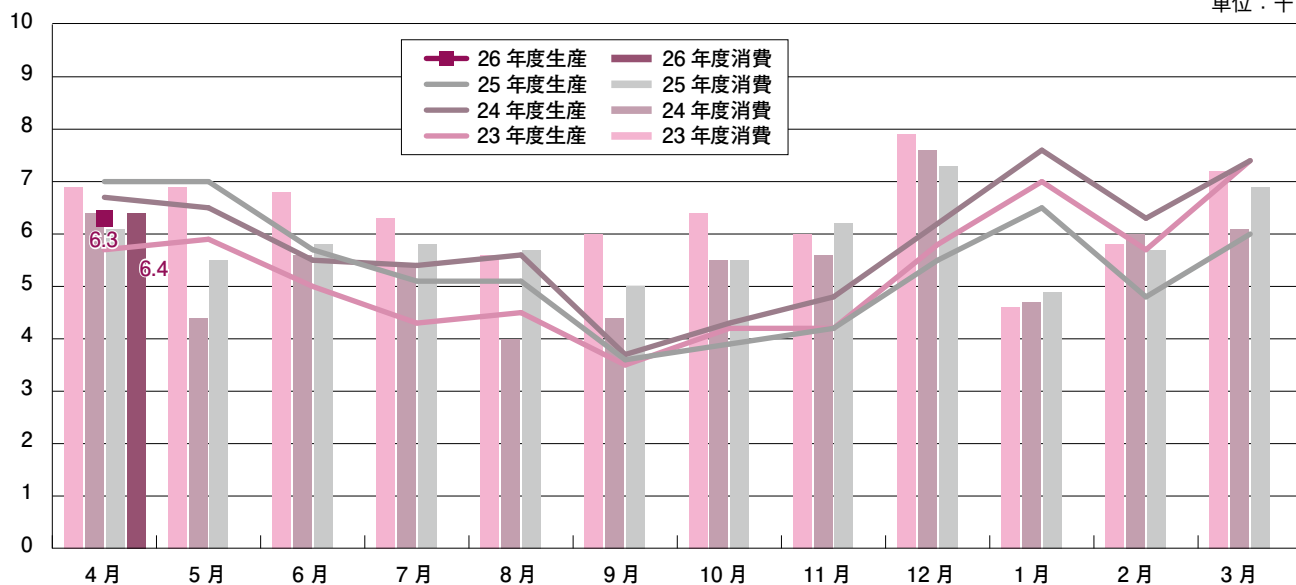
脱脂粉乳の生産及び出回り量推移

単位：千t



バターの生産及び出回り量推移

単位：千t



脱脂粉乳・バターの国内在庫及び大口需要者価格の月別推移

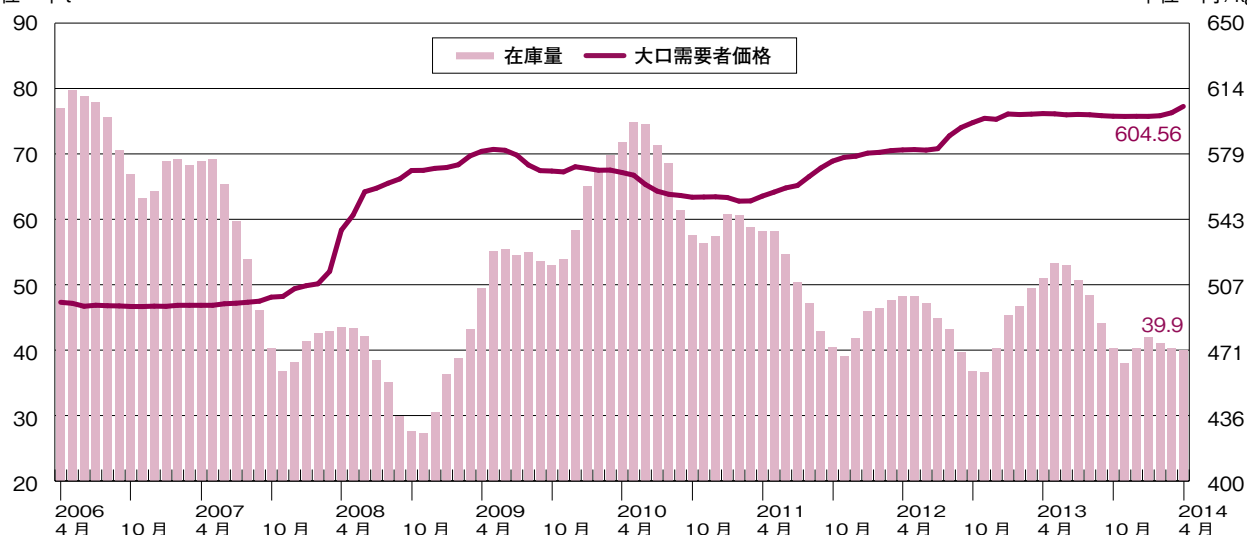
区 分	バター		脱脂粉乳		区 分	バター		脱脂粉乳	
	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格		期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格
年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg
2013. 4月	19.4	1,116.2	48.2	580.80	2014. 4月	17.2	1,181	39.9	604.56
5月	21.5	1,122.9	48.2	580.99	5月				
6月	21.5	1,132.4	47.1	580.69	6月				
7月	21.5	1,135.2	44.9	581.49	7月				
8月	23.2	1,145.7	43.2	588.53	8月				
9月	22.4	1,154.3	39.7	593.03	9月				
10月	21.3	1,155.2	36.7	595.73	10月				
11月	20.5	1,159.0	36.6	598.06	11月				
12月	19.0	1,161.0	40.3	597.52	12月				
2014. 1月	21.9	1,165.7	45.3	600.42	2015. 1月				
2月	22.2	1,174.3	46.7	600.11	2月				
3月	23.5	1,174.3	49.5	600.34	3月				
年度計	257.9	13,796.2	526.2	7,097.71	年度計	17.2	1,181	39.9	604.56

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、大口需要者価格

脱脂粉乳 国内在庫・大口需要者価格推移

単位：千t

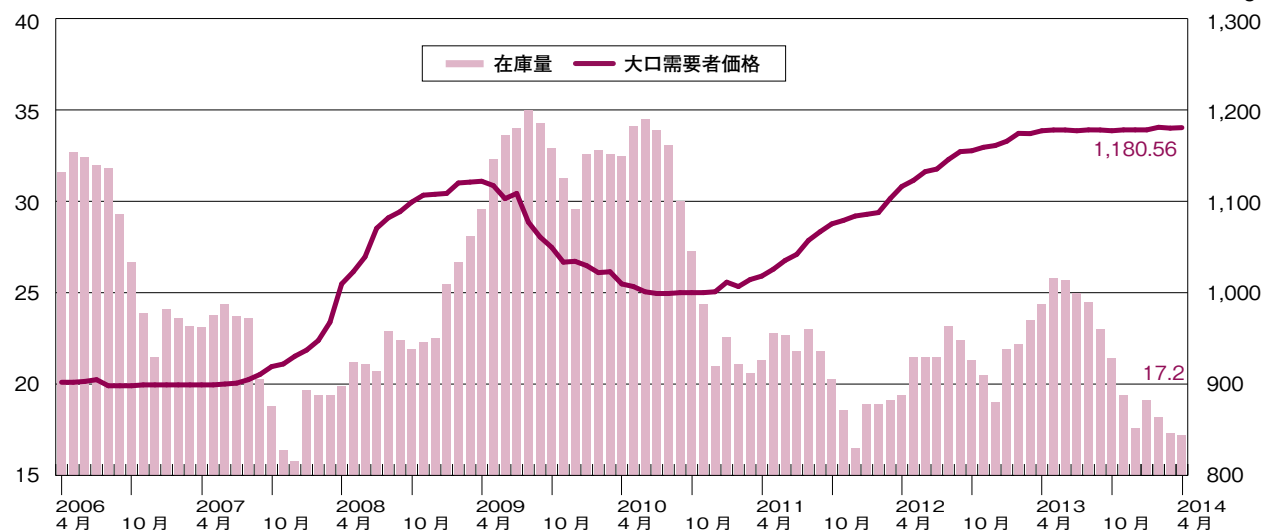
単位：円/kg



バター 国内在庫・大口需要者価格推移

単位：千t

単位：円/kg



これからの 監査のあり方について

全3回
連載
第2回

JA全国監査機構 監査企画部 担当部長 白石 幸人氏 講演録

去る平成26年2月6日開催の平成25年度全酪連定例研修会「監事・役職員研修会」講演録の2回目です。

Ⅲ 行政検査と プロセスチェック

次に行政検査Ⅱ農林水産省検査について触れておきたいと思います。

検査方針の転換

農林水産省検査に関しては、平成24年度に非常に重要な検査方針の転換がなされました。「平成24年度検査方針」で、「事項の不備・欠陥を中心に検証してきた従

来の検査スタイルを見直し、……

ガバナンスの不備・欠陥やリスク管理上の問題点の検証に重点化する……」とされました。これまで

は個別の指摘を細かくやってきたが、それではなかなか埒があかない、もう少し本質に切り込むようなやり方に変えていく、ということだと思っています。

これは、プロセスチェックという考え方です。プロセスチェックは、平成17年に金融庁検査で初めてその考え方が出てきたもので、それが農林水産省の検査方針にも取り入れられています。

プロセスチェックとは

プロセスチェックと言った場合の「プロセス」には、次の2つの分野があます。

プロセス

○全般統制(基本規程の領域)

対応方針を決定する・所管部署を整備する・規程を整備する・業務の実施状況を報告させる・問題点に対応するといった「組織としての対応プロセス」

○業務処理統制

(事務手続・マニュアルの領域)
顧客に説明する・案件を受け付ける・進捗管理する・点検する・照合する・検印する・入力するといった「個々の業務におけるプロセス」

監査においては、両方の観点が必要で

次にプロセスチェックの具体例を見てみましょう。

(1) プロセスチェック型指摘の 具体例

次ページの具体例は実際に信金であった金融検査の指摘事例ですが、「誰が」「どういう指摘を受けたか」というところに注目してください。「審査部門が」「顧客説明に係る営業店指導を十分に行っていない」という指摘になっています。一方、実際に検査官が発見した不備事項を見ると、「貸付条件の変更申出から数ヶ月経過している案件について、営業店が顧客に対して進捗状況の説明を行っていない事例が認められる」というものです。これだけだと、営業店に対して指摘をしてもいいようなものですが、営業店に対する指摘ではなく、営業店を指導管理する本店の審査部門が指摘されました。ミスをした現場(営業店)の人間ではなく、営業店を統括する本店が責任を問われています。

(2) プロセスチェックの考え方

では、どうしてこのような指摘になるのでしょうか。参考に掲げた「系統金融マニュアルにおける

『検証ポイント』のチェックリストで説明したいと思います。
このチェックリストは、

- I 経営陣による態勢の整備・確立状況
- II 管理責任者による態勢の整備・確立状況
- III 個別の問題点

の三層構造になっています。

さらに、「I 経営陣による態勢の整備・確立状況」のチェック項目の区分を見ると、

- 1. 方針の策定……………(P)
- 2. 内部規程・組織体制の整備……………(D)
- 3. 評価・改善活動……………(C)・(A)

と、プラン(P)・ドウ(D)・チェック(C)・アクション(A)のサイクルになっています。経営陣がPDCAのサイクルでちゃんと管理しているかどうかチェック項目となっているのです。「II 管理責任者による態勢の整備・確立状況」のチェック項目も同じ考え方で作ら

れています。

さて、三層構造の一番下「III 個別の問題点」の検証ポイントの記載を見ると、「IIIの各チェック項目の検証において問題点の発生が認められた場合、当該問題点がI又はIIのいずれの要素の欠如又は不十分に起因して発生したものであ

るかをI又はIIのチェックリストにおいて漏れなく検証……」するとされています。

つまり、現場において問題があった場合、現場の問題だけではなく、三層構造のひとつ上（＝本店所管部）のやるべきことにぬかりはなかったか、さらに、一番上の経営陣

のやるべきことにぬかりはなかったか、それぞれのチェックリストで検証しますよ、ということなのです。このような考え方で検査が行われますので、先ほど述べた事例のように、「現場のミスは本店所管部の役割が不十分であるから」という指摘を受けることになるのです。

[具体例] プロセスチェックの具体例

審査部門の営業店指導（貸付条件変更案件の進捗管理） 不十分とされた事例（信金）

【検査結果】住宅ローンに係る貸付条件の変更への対応について、**審査部門**は、営業店に対し、貸付条件の変更の申出を受けた場合、**条件変更管理票**に記載するとともに、保証会社の審査により時間を要している案件については、**進捗管理状況**を顧客に連絡し、**同部門**に月次報告するとしている。

しかしながら、**同部門**は、条件変更管理票の検証において、金融円滑化法に基づく開示対応の観点から件数を把握するにとどまり、**顧客説明に係る営業店指導**を十分に行っていない。

このため、**貸付条件の変更申出から数ヶ月経過している案件について、営業店が顧客に対して進捗状況の説明を行っていない事例**が認められる。

①被監査組合等の主張 「～こととしている」

審査部門は営業店における条件変更対応体制を整備（進捗状況の把握）

- 変更申出を受け**条件変更管理票**に記載
- 時間を要する案件は**顧客に連絡するとともに本部へ報告**

金融検査の指摘の仕方

営業店での事務・業務の不備（事実）を材料に**体制面**の問題点を指摘する

この取組を進めることが
所管部等の体制整備を促す

②その否定＝指摘 「しかしながら～」

審査部門は顧客説明にかかる営業店指導を十分に行っていない
（条件変更管理票の検証が件数把握にとどまっている）

体制面の課題
＝全般統制の分野

個々の業務不備でなく
体制面の整備を促す

③否定の材料（事実） 「このため～」

- 貸付条件変更申出から数ヶ月経過しているのに顧客に進捗状況の説明を行っていない案件

個々の業務における不備
＝業務処理統制の分野

〔参考〕 系統金融検査マニュアルにおける「検証ポイント」（一例）

金融円滑化

Ⅰ. 経営陣による態勢の整備・確立状況	検証ポイント	(前略)Ⅱ.以降のチェック項目の検証において問題点の発生が認められた場合、当該問題点がⅠ.のいずれの要素の欠如又は不十分に起因して発生したものであるかを漏れなく検証し、双方向の議論を通じて確認する。検査官が認識した弱点・問題点を経営陣が認識していない場合には、特に、態勢が有効に機能していない可能性も含めて検証し、双方向の議論を通じて確認する。	
	1. 方針の策定	①理事の役割・責任 ②金融円滑化管理方針の整備・周知 ③方針策定プロセスの見直し	
	2. 内部規程・組織体制の整備	①内部規程の整備・周知 ②金融円滑化管理責任者の設置及び権限の付与 ③信用リスク管理部門及び利用者説明管理責任者等における金融円滑化管理態勢の整備 ④外部委託先に対する金融円滑化の徹底 ⑤理事会等への報告・承認態勢の整備 ⑥監事への報告態勢の整備 ⑦内部監査実施要領及び内部監査計画の策定 ⑧内部規程・組織体制の整備プロセスの見直し	
	3. 評価・改善活動	(1)分析・評価	①金融円滑化管理の分析・評価 ②分析・評価プロセスの見直し
		(2)改善活動	①改善の実施
			②改善活動の進捗状況 ③改善プロセスの見直し
Ⅱ. 管理責任者による態勢の整備・確立状況	検証ポイント	(前略)Ⅱ.の各チェック項目の検証において問題点の発生が認められた場合、当該問題点がⅠ.のいずれの要素の欠如又は不十分に起因して発生したものであるかをⅠ.のチェックリストにおいて漏れなく検証し、双方向の議論を通じて確認する。検査官が発見した問題点を経営陣が認識していない場合には、特に上記Ⅰ.の各態勢及びその過程が適切に機能していない可能性も含め、厳格に検証し、双方向の議論を通じて確認する。	
	1. 管理責任者の役割・責任	(1)内部規程等の策定	①金融円滑化管理規程及び金融円滑化マニュアルの整備・周知 ②金融円滑化管理規程の内容 ③金融円滑化マニュアルの内容
		(2)金融円滑化に係る管理の実施	①金融円滑化に係る管理態勢の整備 ②金融円滑化関連情報の収集、管理、分析及び検討 ③モニタリング態勢
			④信用リスク管理部門等との連携
			⑤指導・監督
			⑥研修等による周知徹底
			⑦理事会等への報告態勢
			⑧監事への報告態勢の整備
		(3)評価・改善活動	
Ⅲ. 個別の問題点	検証ポイント	(前略)Ⅲ.の各チェック項目の検証において問題点の発生が認められた場合、当該問題点がⅠ.又はⅡ.のいずれの要素の欠如又は不十分に起因して発生したものであるかをⅠ.又はⅡ.のチェックリストにおいて漏れなく検証し、双方向の議論を通じて確認する。検査官が発見した問題点を経営陣が認識していない場合には、特に上記Ⅰ.の各態勢及びその過程が適切に機能していない可能性も含め、厳格に検証し、双方向の議論を通じて確認する。	
	1. 共通	①与信審査・与信管理 ②利用者説明等	
	2. 農林漁業者及び中小・零細企業等向け融資	①金融円滑化への対応 ②取引先である農林漁業者及び中小・零細企業等に対する経営相談・経営指導及び経営改善計画の策定支援等の取組み等 ③信用保証制度への対応	
	3. 住宅ローン	①与信審査・利用者説明 ②与信管理 ③保証機関	

検査カテゴリーと掲載事例数

カテゴリー	指摘事例
I 経営管理（ガバナンス）態勢	
II 金融円滑化	2
III 法令等遵守態勢	5
IV 利用者保護等管理態勢	
V 統合的リスク管理態勢	
VI 自己資本管理態勢	
VII 信用リスク管理態勢	12
VIII 資産査定管理態勢	9
IX 市場リスク管理態勢	
X 流動リスク管理態勢	
XI オペレーショナル・リスク管理態勢	
計	28

指摘された者とプロセス

	事例数	うち経営層	うち所管部署
金融円滑化管理態勢	2		2
法令等遵守態勢	5	1	4
信用リスク管理態勢	12	3	9
資産査定管理態勢	9	1	8
合 計	28	5	23

	部署整備	規程（ルール）等整備	規程（ルール）等徹底	進捗管理	実態把握 評価改善	合計
金融円滑化		1	1			2
法令等遵守	1	1		1	2	5
信用リスク		5	5		2	12
資産査定		5	3		1	9
合 計	1	12	9	1	5	28

IV 金融検査における プロセスチェックの事例

農協検査（3者要請検査）結果 事例集の公表

信用事業を行う農協（JAバンク）を対象に3者要請検査（金融庁検査）が一昨年から実施され

ており、農林水産省及び金融庁から「農協検査（3者要請検査）結果事例集」が平成25年3月19日付けで公表されています。

左の表のとおり、事例集に掲載された指摘事例は28件、内訳は「信用リスク管理態勢」12件、「資産査定管理態勢」9件、「法令等遵守態勢」5件、「金融円滑化」2件となっています。

注目したいのは、「指摘された者

とプロセス」のところで、誰が指摘されたかを見ると、28件のうち「経営層」が指摘されたものが5件、残り23件は「所管部署」で、現場は1件も指摘されていません。

次に、どのプロセスが指摘されたかを見ると、「規程（ルール）等整備」―規程（ルール）が整備されていない―が12件と一番

事例に見るプロセスチェック （理事等への指摘を中心に）

多くなっていますが、「規程（ルール）等徹底」―規程（ルール）が徹底されていない―も9件と多く、規程は作つたけれど作りっぱなしということだと所管部署が指摘されることになります。

次に、次ページの公表事例の中から経営者が指摘された事例を見ておきましょう。

(1) 事例3

この事例は、指摘された者は「代表理事組合長」で「コンプライアンス委員会の機能をどのように強化するのかについて十分に検討していない」ことを指摘されています。一方、検査官が発見した事実（「支所で」集金現金の長期預かり事案が再発している実態が認められる）ことでした。三層構造の一番下の現場の失態が一番上の組合長への指摘となってしまった事例です。

(2) 事例21

次の事例は、「理事会」が「指摘に対する対応を資産査定管理部門任せにし、改善状況の把握を行っていない」ことを指摘されたものです。一方、指摘の原

因は「債務者の財務状況等が十分に把握されないまま、(支店で)債務者区分の判定が行われている事例が認められる」ことでした。これも、三層構造の一番下の不備を一番上の責任として問

われた事例です。

以上の2事例の他、理事なり理事会が指摘された事例では、本店所管部がちゃんとやっていないことに対して、理事等が責任を果たしていないと指摘された

ものですが、先の2事例は現場の不備が所管部を飛び越えて理事等への指摘として来たということ、なかなか厳しい事例だと言えます。

(次号に続く)

[公表事例]

事例3

代表理事組合長は、常例検査で、集金現金の長期預り事案の指摘を受け、コンプライアンス委員会に機能を十分発揮させることの重要性を認識し、同委員会の部長会議からの独立を図っている。しかしながら、同組合長は、不祥事件の再発防止を図るため、同委員会の機能をどのように強化するのかについては十分に検討していない。こうした中、(支所で)集金現金の長期預り事案が再発している実態が認められる。

事例8

理事会は、「信用リスク管理規程」を定め、審査部門に与信時の取引先の経営・事業内容及び案件の資金使途等の情報に基づき、与信案件の審査・管理を行わせることとしている。しかしながら、審査部門担当理事は、手形貸付の限度枠の更新に係る審査について、同部門に対して、資金の必要性の確認などの具体的な審査手法を検討するよう指示していない。こうした中、同部門において、債務者の事業内容や資金繰りを踏まえた当該限度枠の見直しの必要性について検討することなく、既存の限度額のまま更新を行っている事例が認められる。

事例9

理事会は、長期延滞や私的・法的整理等の問題債権について、与信管理部門に処理方針を作成させ、理事会に付議させることとしている。しかしながら、理事会は、当該処理方針の検討に当たり、債務者の業況を確認し、その実態に即した処理方針となっているかどうかの検討を行うこととしていない。このため、処理方針が2年前から更新されていないものや、担保処分による回収見込額を控除した残りの債権の処理方針が不明なものについて、理事会において、妥当性の検討が行われることなく承認されている事例が認められる。

事例18

理事会は、「信用リスク管理方針」を定め、大口信用供与先や一定の条件を満たす要注意先債務者の経営状況等について、与信管理部門から報告を受けることとしている。しかしながら、理事会は、与信集中リスクについて、具体的な管理方法を定めておらず、当組合の貸出金の大部分を占めている賃貸住宅ローン等について、同部門に、残高や貸出金に占める割合等を把握・管理させ、定期的に理事会に報告させる態勢を整備していない。

事例21

理事会は、債務者区分の判定について、常例検査で指摘を受けたことから、自己査定の実施方法の改善を図ることとしている。しかしながら、理事会は、指摘に対する対応を資産査定管理部門任せにし、改善状況の把握を行っていない。また、同部門においても、支店に対して、改善に取り組むよう文書を発出するにとどまるなど、債務者の実態把握に係る指導を徹底していない。こうした中、債務者の財務状況等が十分に把握されないまま、(支店で)債務者区分の判定が行われている事例が認められる。

全酪連 ギフト商品 について

Zenraku Summer Gift 2014

本年度も「全酪連ギフトセット」お取り扱いの時期となりました。今年の夏季ギフトは6月中旬より8月末までの取扱となります。毎年多くの皆様よりご愛顧いただいていることに、感謝申し上げます。この夏のギフトにも全酪連オリジナルの乳製品セットの他に、ギフト商品の定番であるハム・ソーセージセット、アイスクリーム、麺類など幅広い商品をご用意させていただきました。今回は紙面をお借りして、商品の詳しい内容についてご紹介させていただきます。お世話になった方々や大切な方々への夏の贈り物に、是非、弊会キフトセットをご利用頂きますよう、宜しくお願い致します。

チーズセット

①④全酪乳製品Z・A・B・C・Sセット

今回は、定番の全酪乳製品セットZシリーズ（Z・A・B・C）に加え、冬季も好評頂きましたSシリーズをラインナップに加えました。

Z・Sは、「低価格帯ながら『贈り物』にふさわしいセット」とのコンセプトにより企画されており、①定番の乳製品セットにはない「全酪スライスチーズ」「全酪スライスチーズ」「全酪脂肪分カットとろけるスライスチーズ」が入っており、②個包装・簡易包装を省略しご自宅用としても家族で気軽に楽しめるセットで、③お手

軽なお値段で簡単なお遣い物にも利用しやすい点が特徴です。

また、各セットに、今春リニューアルした商品（酪農家チーズ225g、酪農家6Pチーズ等）を加えております。

特にZ・Aは酪農家スモークチーズ150gも加わったことにより、国産100%をブランドコンセプトとする酪農家シリーズのみのセットに生まれ変わり化粧箱（外箱）も装いを新たにさせて頂いております。

⑤東毛酪農カマンベール3個セット

製造者 東毛酪農協同組合（群馬県新田郡新田町）

おいしいチーズを造るために厳選した農家の生乳を使い、伝統的

麺セット

⑥島原手延そうめん

製造者 株式会社素兵衛屋

島原伝統の手延べ技術を駆使して造られ、小麦の本来の風味と旨みがあり、喉越し最高の素麺です。造りたてならではの風味を楽しみなが

⑦全酪めんセット

製造者 江崎製麺有限公司（福岡県筑後市）

レモン果汁を配合したさわやかな冷やし中華10食と甘さと辛味を生かした清涼感のあるコクと旨みを有するスープの九州冷やし坦々麺6食が入ったセットです。

デザートギフト

⑧乳蔵 北海道バームクーヘン（メイプル）

製造者 株式会社秋月（北海道札幌市）

北海道産の小麦・生クリームを使用し、ゆっくり丁寧何層にも

重ねて焼き上げたバームクーヘン。メイプルシュガーで香り豊かな甘さに仕上げました。

⑨ 飛騨アイスギフトV・V・P
製造者 飛騨酪農農業協同組合（岐阜県高山市）

搾りたての生乳と生クリームをたっぷり使った手作りのアイスクリームです。甘さをおさえたまろやかな口当たりとさわやかさが残る風味が特徴です。

⑩ ⑪ 奥中山アイスセット・ーセット

製造者 奥中山高原協乳株式会社（岩手県宮田町）

岩手県の奥中山高原で育ったカナディアンジャージー種のミルクを贅沢に使った、コクのあるスーパードレミアムな味わいのアイスクリームです。着色料等を使用せず、自然のおいしさにこだわりました。

⑫ 白バラアイス&濃い味ケーキセット

製造者 大山乳業農業協同組合（鳥取県東伯郡）

鳥取県産の生乳とクリームを使

用したアイスクリームと、鳥取県産二十世紀梨を使用したシャーベット、濃厚な味わいが特徴のベイクドチーズケーキを詰め合わせました。アイスもお菓子も楽しめるギフトセットです。大山牧場（抹茶）には石臼挽き京都府産抹茶を、二十世紀梨シャーベットには鳥取県産の二十世紀梨を使用しております。

**⑬ ⑭ 長崎カステラセット
2本入り・3本入り**

製造者 有限会社杉谷本舗（長崎県諫早市）

牛乳、チーズをふんだんに使用したカステラはふくらんで、しつとりとしたキメ細やかな生地が特徴です。地域ブランド「長崎カステラ」の認定工場で製造しております。

加工肉セット

**⑮ 平牧三元豚
ロールステーキギフト**

平牧三元豚をスライスして、ロール状に巻いたロールステーキ

です。平牧三元豚の上品な旨さと甘味をストレートに感じられる一品です。相性抜群の日本海沿岸の高級飛び魚だしを使用した「とびうおのだし」でお召し上がりください。

**⑯ ⑰ 大山ハムセット
SP-104、SP-105**

製造者 大山ハム株式会社

厳選した豚肉を伝統の手法で丹念に仕上げました。一本一本丁寧に糸で巻き風味豊かにスモークしたロースハム、秘伝のタレに漬けてじっくり焼き上げた風味豊かな焼き豚、豚バラ肉をじっくり漬け込み仕上げたベーコンのセットです。

**⑱ ローストビーフセット
DF-1100**

焙煎胡椒とドイツ産岩塩でシン

プルに味付けして和牛の旨みとそのまま閉じ込めました。和牛に旨みがじっくり詰まった存在感たっぷりのローストビーフです。

**⑲ ⑳ おこっぺハムセット
OC-40・OC-50**

製造者 株式会社オホツククリーンミート

おこっぺハムは、冷涼なオホツクの大地の中で、北海道産の厳選豚肉のみを使用して、「おいしさ」を最大限引き出せるよう独自の塩漬製法によりじっくりと時間と手間をかけて製造しております。主原料は100%道内産の素材を使い、北海道らしさや将来性を兼ね備えた食品に対して認定される「道産食品独自認証制度」の第1号の認証を受け、「品質〆おいしさ」にこだわった商品作りをしています。

商品は十分に「ご用意しておりますが、数に限りがございますのでお早めのご注文をお願い致します。

今後とも、全酪連ギフトセットをよろしく願ひ致します。

全酪連の夏ギフト

毎年恒例の「全酪連ギフトセット」の取り扱い時期となりました。
お世話になった方や大切な方への夏の贈り物に、
是非、本会ギフトセットをご利用頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。
なお、環境にやさしい簡易包装を採用している商品がございますので、
ご理解とご協力のほど併せてよろしくお願い申し上げます。

お申込みにつきましては、お近くの支所までお問い合わせください。

チーズセット



①Z-A

酪農家チーズ225g×1個／酪農家6Pチーズ108g×1個／酪農家とろけるスライスチーズ144g×1個／酪農家スライスチーズ144g×2個／酪農家スモークチーズ150g×1個
(アレルギー物質) 乳
お取扱期間 6/16~8/31

税込3,726円(本体3,450円) 冷蔵 簡易 短



②Z-B

酪農家チーズ225g×2個／酪農家6Pチーズ108g×2個／酪農家とろけるスライスチーズ144g×1個／酪農家スライスチーズ144g×1個／おいしいスモークチーズ60g×1個／ぬるチーズ150g×1個
(アレルギー物質) 乳
お取扱期間 6/16~8/31

税込4,925円(本体4,560円) 冷蔵 簡易 短



③Z-C

酪農家チーズ225g×2個／酪農家6Pチーズ108g×2個／酪農家とろけるスライスチーズ144g×1個／酪農家スライスチーズ144g×2個／おいしいスモークチーズ60g×1個／ぬるチーズ150g×1個／パウダーチーズ70g×1個
(アレルギー物質) 乳
お取扱期間 6/16~8/31

税込5,454円(本体5,050円) 冷蔵 簡易 短



④Z-S

酪農家チーズ225g×1個／酪農家6Pチーズ108g×1個／全酪とろけるスライスチーズ119g×1個／全酪スライスチーズ119g×1個／全酪脂肪分カットとろけるスライスチーズ119g×1個／おいしいスモークチーズ60g×1個
(アレルギー物質) 乳
お取扱期間 6/16~8/31

税込2,970円(本体2,750円) 冷蔵 簡易 短



⑤東毛酪農カマンベール3個セット

カマンベールチーズ100g×3個
(アレルギー物質) 乳
お取扱期間 6/16~8/31

税込2,808円(本体2,600円) 冷蔵 簡易 短

●詰合せ内容・商品デザイン及び配列についてはお断りなく一部変更する場合があります。●商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。●掲載商品の価格には、配送料が含まれております。

加工肉



⑮平牧三元豚 ロールステーキギフト

平牧三元豚ロールステーキ75g×8個／とびうおだし
50ml×2袋
(アレルギー物質) 小麦／大豆／そば／豚肉／ゼラチン
お取扱期間 6/18~8/31

税込4,315円(本体3,995円) 冷凍 簡単



⑯SP-104

熟成糸巻ロースハム360g／焼豚340g
(アレルギー物質) 小麦／大豆／豚肉
お取扱期間 6/23~8/6

税込4,320円(本体4,000円)

冷蔵 簡単 短冊



⑰SP-105

熟成糸巻ロースハム360g／焼豚340g／
ベーコン280g
(アレルギー物質) 小麦／大豆／豚肉
お取扱期間 6/23~8/6

税込5,400円(本体5,000円)

冷蔵 簡単 短冊



⑱DF-100

ローストビーフ(和牛)300g×2個
(アレルギー物質) 牛肉／乳／小麦／大
豆／鶏肉／りんご
お取扱期間 6/23~8/6

税込11,000円(本体10,185円)

冷凍 簡単 短冊



⑲OC-40

北海道認証ベーコン80g×1個／北海
道ポークファンク220g×1個／あらび
きウィンナー110g×1個／ガーリック
ウィンナー110g×1個／あらびきフ
ランク200g×1個／行者にんにくウ
ィナー120g×1個
(アレルギー物質) 乳／豚肉
お取扱期間 6/16~8/31

税込3,908円(本体3,619円)

冷蔵 簡単 短冊



⑳OC-50

北海道認証ベーコン300g×1個／北海
道認証ペッパーポーク320g／あらび
きウィンナー110g／ガーリックウ
ィナー110g×1個／パジコファンク240g
×1個／あらびきファンク200g×1
個
(アレルギー物質) 豚肉
お取扱期間 6/16~8/31

税込5,184円(本体4,800円)

冷蔵 簡単 短冊

■全国酪農協同組合連合会

●本所 酪農部 〒108-0014 港区芝4-17-5 相鉄田町ビル7F

TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025

●札幌支所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 酪農センター

TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769

●仙台支所 〒980-0021 仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3F

TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384

●名古屋支所 〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3F

TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614

●大阪支所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10 サムティ新大阪フロントビル6F

TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899

●福岡支所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15事務機ビル7F

TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し(お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による)扱いいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 詰合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷凍 冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易 全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。
(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. **普通 短冊** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。

全酪連の夏ギフト

麺



⑥ 島原手延そうめん

手延素麺島原細造り50g(乾麺)×26束
(アレルギー物質) 小麦
お取扱期間 6/16~8/31

税込3,812円(本体3,530円)



⑦ 全酪めんセット

全酪博多冷し中華×10食/九州冷し担々
麺×6食
(アレルギー物質) 小麦/大豆/りんご
お取扱期間 6/16~8/31

税込4,104円(本体3,800円)



デザート



⑧ 乳蔵 北海道バーム クーヘン(メイプル)

乳蔵 北海道バームクーヘン(メイプル)×2個
(アレルギー物質) 乳/卵/小麦/大豆
お取扱期間 6/20~8/25

税込3,888円(本体3,600円)



⑨ 飛騨アイスギフト V-I-P

バニラ120ml×2個/ストロベリー120ml
×2個/抹茶120ml×2個/チョコレート
120ml×2個/宿舎かぼちゃ120ml
×2個/チーズ120ml×2個
(アレルギー物質) 乳/卵
お取扱期間 6/16~8/31

税込4,422円(本体4,095円)



⑩ 奥中山アイスSセット

バニラ130ml×2個/ブドウ130ml×2個/洋なし130ml×2個/
イチゴ130ml×2個

税込4,104円(本体3,800円)

⑪ 奥中山アイスIセット

バニラ130ml×2個/ブドウ130ml×2個/洋なし130ml×2個/
イチゴ130ml×2個/コーヒー130ml×2個/抹茶130ml×2個
(アレルギー物質) 乳/卵
お取扱期間 6/16~8/31

税込5,400円(本体5,000円)



⑫ 白バラアイス& 濃い味ケーキセット

バニラアイス131ml×4個/抹茶アイス131ml×2個/二十世紀
梨シャーベット131ml×2個/バイクドチーズケーキ272g×1個
(アレルギー物質) 卵/乳/小麦/大豆
お取扱期間 6/17~8/31

税込4,968円(本体4,600円)



⑬ 長崎カステラセット2本入り

牛乳風味370g×1本/チーズ風味370g×1本
※10等分カットタイプ

税込3,024円(本体2,800円)

⑭ 長崎カステラセット3本入り

牛乳風味370g×1本/チーズ風味370g×1本/蜂蜜風味
370g×1本
※10等分カットタイプ
(アレルギー物質) 小麦/乳/卵
お取扱期間 6/16~8/31

税込4,104円(本体3,800円)



北海道 乳牛産地情報

平成26年6月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲.....強含み ▼.....やや強含み →.....横這い ◆.....やや弱含み ↓.....弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	30~34	→	5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計94.9%、累計94.6%、苫小牧管内月計98.5%、累計97.9%。6月の初妊牛動向は8月中心の分娩腹となり、価格はやや弱含みで推移する見込み。頭数は例年並み予想だが、道内需要もあるため、主体のF1腹は引き続き強いものと思われる。経産牛は、即戦力となる牛は高値で取引されるものと思われるが、全体的には横這い見込み。
	初妊牛	52~56	◆	
	経産牛	43~48	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	33~40	→	5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計95.3%、累計94.3%、中標津管内月計95.3%、累計94.5%。6月の初妊牛動向は、8月分娩中心で取引されるため、通常であれば値下がり傾向。ただし、メガファームや地元の導入、自家保留対策の実施などにより資源が減少し、高値に推移する可能性もある。依然として、F1腹とホルス腹は、かなりの価格差がある。
	初妊牛	50~57	◆	
	経産牛	48~50	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	29~34	→	5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計99.1%、累計98.6%。6月の初妊牛動向は、夏分娩中心となり相場は落ち着いてくるものと思われるが、道内需要がある程度見込まれ、値下がりの推移は緩やかになると考えられる。F1腹の需要が最も多く、次いで選別腹、ホル腹の順。夏分娩の中でも、真夏前の分娩には購買が集中する可能性がある。
	初妊牛	52~58	◆	
	経産牛	45~50	◆	
道北管内	育成牛(10-12月令)	30~35	→	5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計97.3%、累計96.8%、北見管内月計98.8%、累計98.0%。6月の初妊牛の動向は、8~9月中心の分娩となり都府県での引合いは弱く、価格も弱含みで推移すると思われる。酪農家戸数の減少と同時に販売頭数の減少も目立ち、各乳牛市場の出場頭数が減少している。購買者の買い付ける動きが早く、注文を受けた時には、目的とする分娩月日の乳牛の買付けが困難な状況。
	初妊牛	50~55	◆	
	経産牛	40~45	◆	
道内総括	育成牛(10-12月令)	30~35	→	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は97.2%、累計96.5%。6月の初妊牛の動向は8月分娩中心。都府県需要は減少する予想だが、5月末時点でも8月上旬までの分娩腹は高値で売買されたため、真夏前の分娩腹も高値になる可能性がある。道内も生乳生産量が前年を下回っているため自家保留対策や導入対策も実施され、資源不足が加速する見込み。
	初妊牛	52~57	◆	
	経産牛	45~50	→	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

大好きな場所

今月の表紙は、「第4回酪農いきいきフォトコンテスト」(第42回全国発表大会にて開催)で応募いただいた「大好きな場所」(福島県 小林 加代子氏 撮影)です。いつもの場所なのでしょうが、牛を眺める良いポジション取りをしています。



▼今年も全国各地で「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーンを開催中です。詳細は本会HPにてご確認ください。▼会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

編集後記



平成26年6月10日発行(毎月1回10日発行)

ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報 6月号 No.585

●編集・発行人 中島 裕志郎
 ●発行 全国酪農協同組合連合会
 〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号
 TEL 03-5931-8003
<http://www.zenrakuren.or.jp/>



今月の



入賞作品紹介

ぼくじょうでちしほり

希望ヶ丘幼稚園(東北)5歳 遠藤 結



今月の入選作品は、希望ヶ丘幼稚園（東北）5歳の遠藤 結ちゃん作品です。
笑顔の牛さんがかわいい元気いっぱいの作品です。水彩絵の具をたっぷり使っているため画面に迫力がでています。躍動感のある色彩豊かな楽しい作品ですね。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議主催の「第40回らくのうこどもギャラリー」で
全国377点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議

第
43
回

全国酪農青年女性 酪農発表大会



平成26年
7月17・18
木 金

日程

7月17日(木)

- 13:00～13:55 開会式
- 14:00～16:15 酪農経営発表
- 16:15～16:25 らくのうこどもギャラリー表彰式
- 16:40～18:15 酪農意見・体験発表
- 19:20～21:20 懇親会

7月18日(金)

- 9:00～9:30 酪農経営発表質疑応答
- 9:30～10:00 酪農意見・体験発表質疑応答
- 10:15～11:40 審査講評・表彰式
- 11:40～11:50 閉会式

大会参加費

1名 **13,000 円** (大会・懇親会まで)
※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

大会会場・アクセス

●会場

「ホテルメトロポリタン仙台」
〒980-8477 宮城県仙台市青葉区中央1丁目1-1
TEL 022-268-2525



●宿泊

「ホテルメトロポリタン仙台」又は「ホテルモントレ仙台」
[ホテルモントレ仙台]
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁目1-8 TEL.022-265-7110

■交通のご案内

- JR仙台駅 西口より徒歩1分
- 仙台空港より仙台空港アクセス鉄道で約25分
- 東北自動車道仙台宮城ICより県道仙台西道路線、車で約20分
[新幹線でお越しの場合]
2階(西口)からペデストリアンデッキを経て2階玄関へ
- 地下鉄でお越しの場合]
地下鉄仙台駅南6番出口を経て1階正面玄関へ

